


基本方針7 学校の組織力向上と開かれた学校づくりをすすめます

【基本的方向】

- ① 校長マネジメントを強化し、学校の特性や生徒の課題に応じた学校経営を推進します。
- ② 保護者等への情報発信を充実するとともに、地域や保護者のニーズを十分に反映した開かれた学校づくりをすすめます。
- ③ ICTを活用した校務の効率化等を推進します。
- ④ 私立学校における開かれた学校づくりに向けた取組みが、さらに進むよう支援します。

【重点取組の点検結果】

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
31 校長マネジメントによる学校経営の推進 《基本的方向①》	115 学校経営計画の策定による PDCA サイクルに基づく学校経営の確立	学校経営計画に示す教育目標の実現度：80%以上 (平成30年度から)	学校経営計画に示す教育目標の実現度：78.3% (平成29年度)	学校経営計画に示す教育目標の実現度：72.9%	×	学校経営の確立	◆学校経営計画策定にあたっては、校長との面談を通して、学校の課題やミッションを明確にしながら、取組みや成果指標について、校長に対し指導・助言した。 また、各府立学校において、学校経営計画に基づいた学校経営を行うとともに、学校教育自己診断や学校運営協議会からの意見を踏まえ、年度末に学校評価を実施した。

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
31 校長マネジメントによる学校経営の推進 《基本的方向①》	116 予算面等における校長のマネジメント強化	学校経営計画に示す教育目標の実現度：80%以上 (平成 30 年度から)	学校経営計画に示す教育目標の実現度：78.3% (平成 29 年度)	学校経営計画に示す教育目標の実現度：72.9%	×	学校経営推進事業 	◆府立、私立双方を対象に募集を行った結果 11 校を支援対象校に決定し、500 万円を上限に経営支援を行った。
	117 「チームとしての学校」整備と校長がリーダーシップを発揮できる組織体制の確立	校長のニーズに合わせてミドルリーダーをはじめとしたあらゆる教員向けに校内研修支援を実施した府立学校：5 校以上を維持 (平成 30 年度から)	ミドルリーダー育成のための若手教員向け校内研修を府立学校で実施：5 校 (平成 29 年度)	ミドルリーダー育成のための若手教員向け校内研修を府立学校で実施：6 校		◎	育成支援チーム事業

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
31 校長マネジメントによる学校経営の推進 《基本的方向①》	118 民間人、行政職、教諭等からの優れた人材の校長への任用	令和4年度当初人事 【府立学校】 原則公募による任用	平成29年度当初人事 【府立学校】 民間人：9名 教諭等：1名	平成30年度当初人事 【府立学校】 民間人：8名 教諭等：0名 〔平成31年度当初人事〕 民間人：5名 教諭等：0名	○	府立学校校長及び小中学校任期付校長の公募	◆優秀な人材を確保するため、民間人校長を含む現職校長をパネリストに迎えた校長公募説明会を開催した。また、地下鉄梅田駅など21 駅 31 カ所に募集ポスターを掲示するとともに、府ホームページや SNS も活用した広報活動を推進した。
		令和4年度当初人事 【公立小・中学校】 計画的な任用	平成29年度当初人事 【公立小・中学校】 民間人：7名 行政職：2名 教諭等：2名 ※政令市及び豊能地区を除く	平成30年度当初人事 【公立小・中学校】 民間人：6名 行政職：2名 教諭等：2名 ※政令市及び豊能地区を除く 〔平成31年度当初人事〕 民間人：7名 行政職：2名 教諭等：2名			

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
31 校長マネジメントによる学校経営の推進 《基本的方向①》	119 教職員の働き方改革の推進	<p>教員の年間1人当たり平均時間外在校時間を全日制課程において360時間以内にするとともに、すべての校種で対前年度比で減少させる。</p> <p>とりわけ、時間外在校時間が極めて多い教員数が減少するよう、重点的に取組を行う。</p>	<p>教員の年間1人当たり平均時間外在校時間</p> <p>府立高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日制課程：401.6時間 ・定時制通信制課程：171.6時間 <p>府立支援学校：244.4時間</p> <p>(平成28年度)</p>	<p>教員の年間1人当たり平均時間外在校時間</p> <p>府立高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日制課程：385.7時間 ・定時制通信制課程：125.0時間 <p>府立支援学校：223.6時間</p> <p>【参考】H29年度</p> <p>府立高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日制課程：394.9時間 ・定時制通信制課程：159.1時間 <p>府立支援学校：233.3時間</p>	○	府立学校における働き方改革に係る取組の実施	<p>◆『府立学校における働き方改革に係る取組みについて』(平成30年3月)に基づく取組みを着実に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員の試行実施 ・学校休業日(仮称)の試行実施 ・在宅勤務(テレワーク)の試行実施 ・働き方改革ポータルサイトの開設 等

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
32 地域・保護者との連携による開かれた学校づくり 《基本的方向②》	120 学校運営協議会による保護者・地域ニーズの反映	全府立学校に学校運営協議会を設置 (平成 30 年度)	学校協議会を学校運営協議会へ移行するための準備 (平成 29 年度)	全府立学校に学校運営協議会を設置	◎	学校運営協議会の運営	◆全ての府立学校において、学校運営協議会委員の委嘱を行い(平成 30 年 4 月)、運営を開始。全府立学校で年 3 回以上会議を開催した。また、学校運営協議会に関する情報を公表していない学校に対し、個別に指導を行った。
						保護者の申し出制度	◆保護者が、郵送、投稿、メール等により協議会に授業や教育活動に関して意見書を提出できるようにするとともに、意見について、必要に応じて協議会での調査審議を経て、校長に具申されるよう条件を整備した。
	121 学校開放やボランティア活動等による地域貢献と地域とのつながりづくり 【基本方針 5 具体的取組 96 の一部再掲】	【府立高校の体育施設の開放】 継続的にグラウンド等の開放事業を実施 (平成 30 年度から)	府立高校の全校でグラウンド等の開放を実施 (平成 29 年度)	府立高校の全校でグラウンド等の開放を実施	◎	学校体育施設開放事業	◆すべての府立高校体育施設を、地域で行うスポーツ活動に開放し、運動機会の充実を図った。 (参考) 支援学校 11 校でも実施。
	【総合型地域スポーツクラブ】 総合型地域スポーツクラブの活動を支援するとともに、クラブの自立的な運営の促進に向けた支援を担う組織を整備する。 (令和 3 年度)	府内 28 市町に 60 クラブが設立済さらに 2 クラブが設立準備中 (平成 29 年度)	府内 28 市町に 62 クラブが設立済 3 クラブが設立準備中	○	総合型地域スポーツクラブ活動促進事業	◆以下、取組みを行った。 ・大阪府広域スポーツセンターの運営 ・総合型クラブフェスタの開催 ・各種地域スポーツ団体との連携強化の実施等	

項目		目標 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H30 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
32 地域・保護者との連携による開かれた学校づくり 《基本的方向②》	121 学校開放やボランティア活動等による地域貢献と地域とのつながりづくり 【基本方針5 具体的取組 96 の一部再掲】	—	—	—	—	府立学校の保護者・地域住民向け公開講座の実施	◆以下、公開講座を実施した。 ・パソコン教室 (12 校実施) ・健康講座 (1 校実施) ・陶芸教室 (2 校実施) ・小学生向け理科教室 (1 校実施) ・PTA文化講習会 (2 校実施) ・外国語教室 (3 校実施)
33 校務の効率化 《基本的方向③》	122 ICTの活用による校務の効率化の推進	—	—	—	—	府立学校教育 ICT化推進事業	◆全府立学校へ展開している統合 ICT ネットワークについて、セキュリティ対策などの安全な環境維持に努めるとともに、教職員が利用する端末機 2,000 台及び支援学校(26 校)のネットワーク機器の更新を行い、教職員が効率的に校務業務を行うための ICT 環境を整備した。
34 私立学校における開かれた学校運営に向けた取組みの促進 《基本的方向④》	123 私立学校における学校情報の公表・公開	学校情報の公表状況 いずれについても 100%をめざす	学校情報の公表状況 (平成 28 年度決算) ※下表参照	学校情報の公表状況 (平成 29 年度決算) ※下表参照 ※平成 30 年度決算(実績)は令和 2 年 3 月下旬に公表予定	△ (注)	経常費補助金の配分	◆情報を公表していない学校については、経常費補助金を減額して配分した。

(注) 目標に対する平成 29 年度実績の進捗状況を記載。

私立学校における学校情報の公表・公開（府教育庁調べ）

	財務情報		自己評価		学校関係者評価	
	H28年度 決算	H29年度 決算	H28年度 決算	H29年度 決算	H28年度 決算	H29年度 決算
幼稚園	91.1%	91.1%	94.4%	93.9%	83.0%	83.4%
小学校	94.1%	94.1%	88.2%	100.0%	94.1%	100.0%
中学校	96.8%	98.4%	92.1%	100.0%	90.5%	100.0%
高校	96.9%	97.9%	93.8%	100.0%	91.7%	100.0%
専修学校	—	—	67.6%	68.0%	54.5%	55.4%

【指標の点検結果】

指標	目標値 (目標年次)	計画策定時	H30 年度実績値	点検結果
○指標 43 「学校経営計画」中の年度重点目標の実現度	80%以上をめざす (平成 30 年度から)	78.3% (平成 28 年度)	72.9% [平成 29 年度実績 77.2%]	× 平成 30 年度実績は、計画策定時の実績を 5.4 ポイント下回り、目標の 80%には達しなかった。
○指標 44 府立高校の学校教育自己診断における授業参観や学校行事等への保護者の参加及び学校の情報提供に関連する診断項目の肯定値	保護者参加： 70%をめざす 情報提供： 80%以上をめざす	保護者参加：66.0% 情報提供：75.2% (平成 28 年度)	保護者参加：67.9% 情報提供：75.9% 〔平成 29 年度実績 保護者参加 67.0% 情報提供 76.2%〕	○ 平成 30 年度実績は、計画策定時の実績をいずれも上回った。
○指標 45 私立学校における学校情報の公表状況	いずれについても 100%をめざす	学校情報の公表状況 (平成 28 年度決算) ※下表参照	平成 30 年度実績 (平成 29 年度決算) ※下表参照 ※平成 30 年度決算(実績)は令和 2 年 3 月下旬に公表予定	△ (注) 平成 30 年度実績は、財務情報については、幼稚園・小学校は計画策定時の実績と同率、中学校・高校は上回った。 自己評価及び学校関係者評価については、幼稚園については、学校関係者評価が計画策定時を 0.4 ポイント上回り、自己評価が 0.5 ポイント下回った。 小学校・中学校・高校は計画策定時の実績を上回り、100%となった。 専修学校については、計画策定時の実績をそれぞれ 0.4 ポイント、0.9 ポイント上回った。

※府立学校における学校情報の公表状況(財務情報、自己評価、学校関係者評価)は100%である。

(注) 目標に対する平成 29 年度実績の進捗状況を記載。

私立学校における学校情報の公表・公開（府教育庁調べ）

	財務情報		自己評価		学校関係者評価	
	H28年度 決算	H29年度 決算	H28年度 決算	H29年度 決算	H28年度 決算	H29年度 決算
幼稚園	91.1%	91.1%	94.4%	93.9%	83.0%	83.4%
小学校	94.1%	94.1%	88.2%	100.0%	94.1%	100.0%
中学校	96.8%	98.4%	92.1%	100.0%	90.5%	100.0%
高校	96.9%	97.9%	93.8%	100.0%	91.7%	100.0%
専修学校	—	—	67.6%	68.0%	54.5%	55.4%

【自己評価】

【基本的方向①】 校長マネジメントを強化し、学校の特性や生徒の課題に応じた学校経営を推進します。

- 全府立学校において、校長・准校長が作成した学校経営計画に基づいた学校運営を行うとともに、学校協議会からの意見や、児童生徒・保護者向け学校教育自己診断の結果を踏まえた学校評価を行った。学校経営計画中の年度重点目標の実現度は、平成28年度より5.4ポイント減少した。減少した要因の一つとしては、毎年、より高い指標への見直しを行うため、未達成が増えたと考えられる。昨年度と比較して自己評価が著しく下がった学校については、校長への面談や学校訪問を通して、課題を明確にして解決のために支援していく。
- 府立学校及び市町村立小中学校の校長の公募にあたっては、優秀な人材を幅広く確保するため、昨年度同様、説明会の実施や地下鉄主要駅へのポスター掲出など積極的に広報活動を展開した。府立学校については、40名程度の募集に対して172名の応募があり、選考の結果33名が合格となった。市町村立小中学校については、3市3名募集に対して26名の応募があり、選考の結果3名が合格（内採用者数3名）となった。引き続き、応募を増やす取組みを行っていく。

なお、府立学校の校長選考にあたっては、平成26年度の選考より、面接（3次）選考において、面接官に臨床心理士を加え、ストレス耐性を分析するなど、多様な観点で校長の重責を担う人材の選考に向けた工夫を行っている。また、外部人材については、任用前3ヶ月間の研修の充実を図り、4月任用以降においても支援・指導に努める。今後とも、選考方法を必要に応じて改善し、各校の教育課題に対し適切に学校経営ができる人材を広く内外から確保していく。

【基本的方向②】 保護者等への情報発信を充実するとともに、地域や保護者のニーズを十分に反映した開かれた学校づくりをすすめます。

- 全府立学校への訪問や調査により、学校運営協議会を活用した学校運営の改善事例や、学校教育活動の公表について工夫し成果を上げている事例を集約するとともに、学校経営改善に向けた実践的な取組みの成果について、学校経営叢書等で共有した。その結果、学校教育自己診断における学校の情報提供に関連する診断項目の肯定値は昨年と比べてわずかに下がったが、授業参観や学校行事等への保護者の参加については伸びている。今後は、保護者からの回収率が上がるよう啓発に努めるとともに、肯定率も上がるような取組みのさらなる充実を図る。
- 府立高校については、「大阪府公立高等学校・支援学校検索ナビ（咲くなび）」の運用など広報活動に取り組んだ。

【基本方針2（1） 基本的方向②の再掲】

【基本的方向③】 ICT を活用した校務の効率化等を推進します。

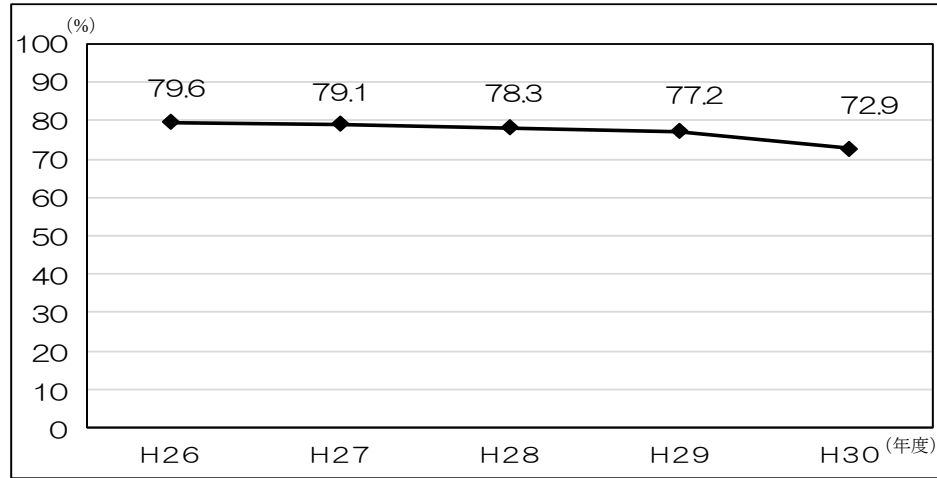
- 全府立学校へ展開している統合 ICT ネットワークについて、セキュリティー対策などの安全な環境維持に努めるとともに、教職員が利用する端末機 2,000 台及び支援学校(26 校)のネットワーク機器の更新を行い、教職員が効率的に校務業務を行うための ICT 環境を整備した。引き続き、教職員が効率的に校務業務を行うため ICT 環境を充実させていく。

【基本的方向④】 私立学校における開かれた学校づくりに向けた取組みが、さらに進むよう支援します。

- 私立学校園については、学校情報が情報未公表の場合は、私立学校に対する経常費補助金の配分において減額要素としている。目標達成に向けて、引き続き、全ての学校に公表の重要性について理解を得られるよう説明し、個別に進捗状況を確認しながら、情報の公表に努めるよう働きかけていく。

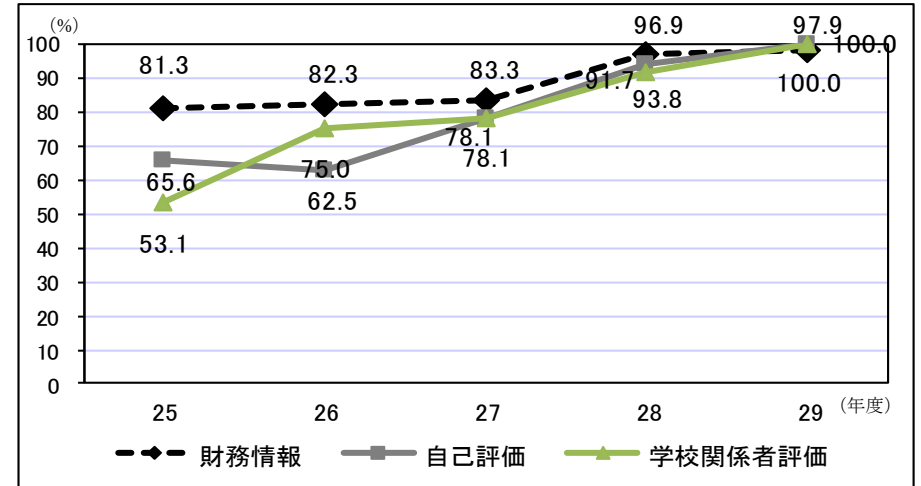
(参考)

◆指標 43 「学校経営計画」中の年度重点目標の実現度



※府教育庁調べ

◆指標 45 私立学校における学校情報の公表状況
(うち高校にかかる公表状況)



※府教育庁調べ